

熱中症ゼロへ

熱中症は気温や湿度といった気象条件だけでなく、体調や暑さへの馴れなども影響します。梅雨の合間や夏の初めに急に暑くなった日や風が弱く蒸し暑い日は、気温があまり高くなくても熱中症にかかる危険性があります。昨年（2013年）の熱中症による搬送人数は累計5万9,105人に上り、一昨年と比較して2割強も増加し過去最多の搬送患者数となりました（総務省消防庁調べ）。

一般財団法人日本気象協会では、「熱中症ゼロへ」というプロジェクト活動を展開しています。



プロジェクトは、熱中症に関する正しい知識と対策をより多くの人に知ってもらうことで熱中症撲滅の輪を広めることを目指しています。3月には、暑いまちとして有名な熊谷市、多治見市、館林市の暑さ対策やPR活動に携わる市職員に、苦労話や取り組みなどを語って頂く座談会を開催しました。6月8日には、ゆるキャラと一緒に学ぼう熱中症対策イベントを計画しています。

これから盛夏にかけて各地で行楽などのイベントが計画されると思いますが、そこでの熱中症を予防するためにも、当協会の「熱中症ゼロへWebサイト

(<http://netsuzero.jp>)」を是非ご活用下さい。
日本気象協会 小田美穂

- 特別顧問** : 丹羽 晨(元理事長、日本空港ビルデング顧問)、丸山 博(元国土交通審議官)、本保 芳明(初代観光庁長官)
- 理事長** : 大島慎子(筑波学院大学学長)
- 副理事長** : 岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(元JALUX特別顧問)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)、加納隆(元朝日新聞経済部記者)
- 事務局長** : 杉行夫(理事)、事務局次長: 堤るり(理事)
- 支部長** : 片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、梅原利之(四国)

【団体会員】

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、(株)朝日ネット、(有)青葉、(株)アールクス、(株)アルビオン、荒井建設(株)、アネクス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)えんれいしゃ、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城天守を再建する会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚食品、環境テクノス(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(社)くらしのリサーチセンター、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサタバサジャパンリミテッド、三協立山(株)、三普旅行社有限公司、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センインターナショナル、常磐興産ビークル(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリーシングシステム(株)、(株)ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成有楽不動産(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、TCTレーシング(株)、(株)哲建、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、医療法人社団同友会、トヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、専門学校日本ホテルスクール、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、羽田旅客サービス(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)パロクジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、プラネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルモトモリタ、前田建設工業(株)、(株)ホテルマックス、マイナホールディングス(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW
観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13
小田急代々木ビル3F

電 話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page <http://www.japannow.org>

発行人: 大島慎子(JN協会理事長)
編集長: 加納 隆(JN協会副理事長)
発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記 原発はいらない？

GW明け、元首相の小泉、細川両氏が「脱原発」を国民運動にと、『自然エネルギー推進会議』を立ち上げ、各界の著名人が発起人に加わった。両氏の「共闘」は、今年初めの都知事選以来である。国内から原発を追放し、太陽光、風力などの自然エネルギーで代替しようということのようだ。

原発は危険であり、廃炉や使用済み核燃料の処理が難しく、発電コストも結果的に高くなるということは、どうやら衆知のこのようで、「脱原発」に真っ向から反対する人は、少数派ともいえる状況になっている。

ただ、「脱原発」を念仏のように唱えるのはいいとして、自然エネルギーが原発に代わる電力の一翼を担えるかどうかは、現状では疑問とみる向きが多い。とくに経済界では、高い電力が企業の国際競争力を弱めるとして、原発依存を希望する声が高い。一方、消費者の多くは、原油、天然ガス等の資源価格が高騰、円安も加わって、これからさらに電気料の値上がりが続くことへの認識が薄いと思える。「脱原発」を言うからには、できるだけ電気を使わない生活を実践する心構えが、われわれ消費者に求められているのではあるまいか。(加納)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第95号 発行日2014年05月28日

Contents

JN協会通常総会、訪日客の伸び順調	1
総会記念特別講演—中村好明氏	2
霞が関情報(ネパール大使)、街道観光④	3
アメリカこぼれ話(ブルーマ)、長い灰色の線	4
地方特産品(狭山茶)、COLUMN・泰麺鉄道	5
城下町と観光(小倉城)、NEWSPOT	6
NPOからの提案、観光立国セミナー	7
お天気(熱中症ゼロへ)、編集後記	8



6月世界遺産に登録される「富岡製糸場」(群馬県)

JN協会通常総会開く

中村氏がインバウンドに関する記念講演

NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」(大島 慎子理事長)は5月23日、東京麹町の「海事センター」で第13回通常総会を開き、平成25年度の決算、26年度予算と事業計画を承認。また、任期満了の理事21名と幹事2名を再選、新しく理事1名を選んだ。

出席者に、須田寛副理事長の近著「東海道新幹線50年」が寄贈された。



開会に際して、大島理事長(写真)は「役に立つ情報を発信して、会員増強を図りたい」と決意を述べた。

総会のあと、ドン・キホーテグループのジャパン インバウンド ソリューションズ社長の中村好明氏が「ドン・キホーテ流 観光立国への挑戦」と題する講演を行った(その概要は2面に掲載)。

引き続き懇親会を開き、中村社長や大島理事長を囲み、観光の現状、インバウンドの進め方など意見を交換した。

成田空港見学会

JN協会は、東京の玄関口の1つ「成田空港」の見学会を行います。世界的な大空港となっている成田空港の制限区域内にある施設、滑走路など、勤務している人たちでも入れないポイントを、バスから見ることができます。

7月16日(水)午後1時から実施。バスの定員が20名なので、先着順とします。お申し込みは、JN協会事務局(03-5304-9500)へ。

訪日観光客、順調に伸びる

「おもてなし」体制の整備が課題か！

2013年に1036万人と初めて大台を超えた訪日客は、今年に入っても順調な伸びを見せ、2020年2000万人に向け、大きな一歩を踏み出している。

JNTO(日本政府観光局)の速報によると、今年4月の訪日客は前年同月比33.4%増の123万2000人と、4月としては過去最高を記録。3月30日に国際線ワクを拡大した羽田空港が、大きく寄与したという。

国別では、フィリピン、マレーシアなど東南アジアからの入国者が、ビザ緩和や格安航空の普及などで、大きく伸びているほか、尖閣諸島問題で減っていた中国からの入国が、前年同月比90%増となっているのが、明るい話題。

ただ、「おもてなし」に欠かせないホテル、交通手段、通訳ガイドなど関連事業者の一層の充実が、2000万人実現へのカギとなる。

こうした状況を踏まえ、各地で体制整備が進められている。私鉄各社やJRと地方自治体の「協働作戦」が活発化しており、東京で言えば中央線沿線のアニメ関連施設の充実、新宿でのドン・キホーテと伊勢丹を中心とする街ぐるみの協力体制が成果をあげているなど、外国客誘致の動きが広がっている。また、2015年春開通の北陸新幹線を起爆剤とする、金沢・富山など沿線各地の施設拡充や受け入れ態勢の充実、北海道新幹線沿線各地の動きも目立っている。

インバウンドで切り拓く次のニッポン ドン・キホーテ流 観光立国への挑戦 ジャパン インバウンド ソリューションズ 中村 好明社長

格安販売で知られる「ドン・キホーテ」が、「ジャパン インバウンド ソリューションズ」を設立、本格的にインバウンド（外国客誘致）事業に取り組んでいることは、ここへきてかなり知られてきた。



その先頭に立つのが中村社長であり、各地でのイベントや講演会で、訪日客を増やすことの意義と重要性を訴え続けている。23日のJN協会通常総会後の講演を、要約してお伝えする（編集部）。

2008年6月、今の仕事と取り組むこととなった。それまで、観光立国とかインバウンドに関しては、ほとんど無知に近かったが、猛烈に勉強して、その重要性に気付き、やり甲斐を覚えた。

なぜインバウンドか？

日本の人口は、将来には明治初めごろの4000万人、3000万人になるという。定住人口が減れば、それを補うには交流人口を増やさなくては日本経済は維持できない。外国からの客を誘致し経済活動人口の増加を図ることが重要なのだ。

安倍内閣の成長戦略の重要な柱に、国際観光の振興が挙げられるのは、そういう理由からだ。

各地でイベント

私は、交流人口を増やす狙いで、いくつかイベントを仕掛けた。一つは、今年1月末の春節（中国の正月）の際、新宿でドン・キホーテと伊勢丹が組み地元の店を巻き込んで、街ぐるみで外国人を呼び込む作戦を展開した。小売業同士はライバル関係というが、地域おこしでは“協働体”とならなくては。

鹿児島・指宿では「インバウンドって、なあに」という地元の人たちを説き伏せ、『指宿春節フェスティバル』を実施、成功を収めた。このような、イベントを全国的に展開し、インバウンドの実績をあげる考えで進めている。

「輸出と輸入」でみると

日本経済が高度成長し、GDP世界2位（今は中国に抜かれたが）になったのは、産業が発展し輸出が大幅に伸び、貿易収支の大幅な黒字を出し続けたことが、最大の要因。だが、ここへきて様変わり、貿易赤字が急増し、経常収支まで赤字目前だ。

インバウンドを増やせば、外国客は日本の製品を買い旅費や宿泊で、カネを落とす。これは一種の輸出だ。逆に、日本からの海外旅行者（アウトバウンド）は、日本経済にとっては輸入に相当する。かつて、増えすぎた外貨準備を減らすため、海外旅行が推奨され、国際旅行収支が3兆円もの赤字になったこともある。この収支を黒字化することが急務だ。

失われた20年を取り戻せ！

ここ数十年の世界のGDP（国内総生産）の推移を見ると、急速に伸びている世界各国に比べ、日本はほとんど横ばい状態。「失われた20年」といわれるゆえんだ。

2020年東京五輪・パラリンピックが決まったが、その時には立ち直り、再び力強くなった日本を見せなければならない。「あと6年しかないのに」と悲観論を唱える人もいるが、私は「まだ6年もある」と考え、安倍内閣がいう成長戦略を推し進めるべきだと考えている、そのど真ん中に、インバウンドを中心とした観光振興があると確信している。

新宿がトップ

皆さん、訪日外国人が日本で行ってみたい場所のトップはどこだと思いますか？富士山、京都、ディズニーランド？いずれも「ブー」。それは新宿なのです。日本を訪問する外国人の目的は、サイトシーイングだけではなく、ショッピング、食事なのです。新宿には、それらがたっぷりある。今年1月実施した「新宿街ぐるみ」作戦の成功も、そのことをよく物語ってくれる。

また、政府は、外国人が買う日本製品などに、消費税をかけないことを決めた。これは、大きな意味を持つと思う。

ドン・キホーテはインバウンドに邁進する

新宿にも巨大店舗をもつドン・キホーテは、25期連続の黒字経営を続けている。20期連続となると4社しかない。連続増収増益となると、ニトリとうちの2社だけだ。

私は、海外によく行くが、数年前は「ドン・キホーテ、知らんな？」だったが、いまはほとんどの人が知っている。24時間営業なので、一刻の時間も惜しい外国人旅行者は、夜に買い物ができるうちにやってくる。昨年の海外旅行者は1036万人だが、その半分はドン・キホーテに来たと言う数字がある。

いま、ドン・キホーテとペンギンを組み合わせた「ドンペン」というキャラクターを作り、海外にも売り込み中。そしてインバウンドの先頭に立つ。

出国者と入国者の数が逆転

海外から日本へ入国した人の数が、この4月は123万人を超え、過去最高となった（1面参照）が、同月の日本からの出国者数118万人であり、入出国者数が逆転した。

これは、1970年に入国者77万人、出国者数66万人だったとき以来、44年ぶりの逆転現象。

その後、日本からの輸出急増で、経常収支が大きく改善、外貨準備高が大きく増えた。このため外貨減らしを狙って海外旅行を薦めたこともあって、出国者と入国者の差が1200万～1300万人にも上り、3兆円にも及ぶ旅行収支の赤字を計上したことがある。

最近では貿易収支の大幅赤字で経常収支の黒字幅が減り旅行収支の黒字化が期待されていた。

この逆転現象が恒常的なものかどうか、まだ疑問視されるが、観光立国を目指す日本にとって望ましい状況なのかもしれない。

「衣食足りて礼節」をあらためて知る

寺前 秀一（帝京平成大学観光経営学科教授）

クールJapan 戦略のため日本社会のCOOLな部分を取り上げられる機会が多くなりました。中国製品との比較において、日本の製品は質が良く安全だと評価されますが、大正期は儲け重視で不正行為のオンパレード。特許権の侵害や商標盗用を繰り返し、粗製濫造を重ねていました。大豆への石の混入といった超ズサンな手口でした。JIS規格は日本製品の悪評対策として戦前に実施されたのです。

日本人の交通機関でのマナーの良さも褒められますが、大正時代の光景は傍若無人の見本市でした。現在のようにお年寄りや病気の人に席を譲るという習慣はなく、先に座った者勝ちの状態だったようです。窓の外へ弁当箱やビール瓶などのゴミを投げ捨て、線路の保安員が重傷を負う事件もあったようです。政府主催の天皇誕生日パーティーでさえ、“身分の高い人たちが”食器等を持ちだすことがあったようです。

国鉄幹部の藤島茂氏の随筆を材料にした「トイレ

観光立国セミナー

第99回 2014年4月11日

於 海事センター

日本の良さを生かし観光推進を！

ルースジャーマン白石さん（ジャーマン・インターナショナル代表）

ハワイ生まれ、日本に来て27年。『日本人が世界に誇れる33のこと』なる本の著者。「落とした財布が戻ってくる。治安も良い」と語る、日本大好き人間である。

白石さんは、来日後、リクルートに入社し江副さんの薫陶を受けた。退社後、日本とアメリカ（ハワイ）の懸け橋になる仕事を、と現在の会社を立ち上げた。

講演は、ハワイ時代に接した日本人の姿から、本場へ行ってもっと日本人を知ろうと来日、今日に至っているが、ますます日本にほれ込んでいるようだ。

白石さんは、観光は、高齢者医療、新電力システムと並び、これからの日本産業の柱となる、と強調。日本人が、日本の良さを認識し、それを伸ばすことこそが、観光振興につながると述べる。2020年東京五輪、パラリンピックは、日本をもっと世界に知らせる絶好の機会ととらえ、「おもてなし」は相手に合わせるのではなく、日本本来のおもてなしの姿を発現すればよい、という。

日本人を褒めすぎているようで、聞いていて、こそばゆい感もあるが、納得できる立論だった。

予告 100回は6月13日（金）正午から、日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏が「海外からの客を、どうすれば増やせるか」について語る。

101回は、7月11日（金）正午から、麻布大学環境経済学教授のパトリック・コリンズ氏。氏は宇宙観光旅行・経済の専門家。

いずれも、麹町の「海事センター」で。

JN協会主催の観光立国セミナーのこれまでの講演内容は別途、原文のまま印刷物とし、事務局に保存してあります。

ット部長」という映画があります。駅のトイレも決して今日のような評価を受けたものではなく、赤字時代はむしろ低い評価でした。民営化が決まってから、改革意識を高めるためでしょうか、国鉄幹部が掃除道具を持って都内駅トイレを掃除に回り始めたくらいです。

友達や同僚と道をふさいでの歩行や高齢者の自転車マナーは外国人には最悪とうつりますし、電車内で老人に席を譲らない若者を、儒教思想が強い中国人は不可解に思っています。中国のお年寄りも席を譲ってもらって当然と考えている人が多く、中国四川省では、優先席を譲ってもらえなかったお年寄りが、怒ってバスを止めるという事件も起きたそうです。「自閉症の子供がレストランに来たらどうするか」の動画サイト（*）を見ると、日本人文化よりもアメリカ人文化の方が進化しているような気がします。結局マナーについては文化でもありケースバイケースなのでしょう。観光研究者は丁寧に論評することが必要です。

* https://www.youtube.com/watch?v=qabSIRIf7TU&feature=player_embedded

各地の話題

☆ リニア技術がアメリカへ？

ケネディ駐日米大使が、山梨県にあるリニア実験線に試乗、安倍首相がオバマ大統領に超伝導リニア技術の採用を提案、事業主体のJR東海も技術の無償提供を検討しているなど、米国への売り込み機運が高まっている。100～200キロ程度の主要都市間なら、空路に比べ輸送力、コスト面での競争力は高いはず。

自民党が、リニア高速鉄道を名古屋まででなく、大阪までへの早期建設を声高く要請しているが、建設着手を前に今年には“リニア論議”が喧しくなりそう。

★ 中国の格安航空が、日本便を増やす？

上海に本社を置く「春秋航空」が、日本向けの格安航空便を大幅に増やす方針と伝えられている。今は上海一茨城など4路線だが、5年後には日本各地と中国20都市を結ぶ方向という。

尖閣問題などで冷えてきている日中関係だが、豊かになってきた中国人が日本に寄せる関心は高まっているようで、中国政府も無視できなくなりつつある。

2020年の東京五輪、日本食の世界文化遺産登録など2000万人の訪日客誘致を目指す日本政府にとっても、期待できる中国の動向である。

☆ 富岡製糸場が世界遺産に

日本産業発展の原点ともいえる「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、6月にもユネスコの世界文化遺産に登録される可能性が高まっている。この製糸場は、1872年（明治5年）に官営としてスタート、絹製品の輸出中心に日本産業の基盤造りに寄与した。後に片倉工業となる。「富岡製糸場」は、当時の建物はじめ周辺一帯が、国の指定史跡でもある。（一面に正面の写真）

今年のGW中は、前年の3倍にもあたる5万人の観光客が訪れたという。しばらくブームが続きそうだ。

城下町と観光 - 38

福岡・小倉城

南蛮造りの小倉城天守閣

鷗外のゆかりの赤煉瓦の門柱

JN協会参与 長宗我部 友親

小倉城は、豊臣秀吉の時代に、その家臣であった毛利勝信（かつのぶ）に与えられた。勝信は、紫川（むらさきがわ）河口西岸に造られていた古城を整備し、天正15年（1587年）に入城した。

しかし、毛利勝信は関ヶ原の戦いで、西軍についた。そのため戦の最中に、中津城主の黒田如水に小倉城を攻め取られ、関ヶ原敗戦後、徳川家康によって、土佐に配流の処分となった。



そのため、小倉城には、丹後国宮津から細川忠興がはいる、南蛮造りといわれる五層の天守閣を備える城に造り直し、居城とした。

細川家は二代の忠利（忠義）の時、寛永9年（1632年）に、改易された肥後国熊本の加藤氏の後に入る。小倉城には播磨国明石から譜代大名の小笠原忠真（ただかね）が入城した。以後幕末まで小倉藩は小笠原氏が治めることとなった。

小倉藩は、南の山岳地帯から北側の海に向かって流れ込んでいる紫川を中心にして西に城が造られ、東側に城下町が築かれている。小倉城の天守閣には破風がなく、五層だが、上の黒く塗られた五層目の方が、四層目よりも大きい、という変わった形をしている。これが南蛮造りといわれる理由である。

NEW SPOT

in japan 44 ビッキとチニタ

アイヌ民族の代表的な木彫造形家として知られる砂澤ビッキは25年前、その娘で画家・書家の砂澤チニタは昨年10月、ともに50歳代半ばにして逝った。ビッキは「蛙」の愛称、チニタはアイヌ語で「夢」という。父は北海道音威子府を中心に、娘は札幌を拠点に活動を続けていた。今年4月に旭川「雪の博物館」のバンケットホールで行われたチニタを偲ぶ会で夫・吉田仁志さんはチニタの作品を音威子府にあるビッキ記念館「アトリエサンモア」に寄託した。亡き父娘が作品を通して同じアトリエで過ごすことになる。

「森と匠の村」とうたう音威子府村は旭川からJR宗谷本線を北へ特急で1時間40分ほど、人口800人余りで土地の9割近くは森林だ。ビッキは制作に適した木材を求めて1978年11月村に移住

し、廃屋で取り壊し寸前の箆島小学校舎を住まい兼アトリエにした。札幌でアトリエ「モア」と「モアモア」を制作拠点にしていたが移住して3つ目を「3モア（サンモア）」と名付けた。

村へ移り10年間に制作した作品は、動植物イメージの木彫やトーテムポールといった大型モニュメントなど1,000点を超す。3モアはビッキ没後に大幅リニューアルして作品群と制作現場を展示し、札幌・薄野でビッキ作品を飾り親しまれたバー「いないいないばあ」のカウンターなどを館内に再現した。豪雪地のため開館は4月下旬から10月末まで。村の宿は天塩川温泉など少ないが、おといねっぶ美術工芸高校は「造形体験を重ね人間力を育てる」というカリキュラムに全国から生徒が集まる。（文・写真 林 莊祐）

天守閣の最上階からは、現在は公園となっているかつての細川時代の家老長岡佐渡の屋敷跡など、緑豊かな地形が見渡せる。

小倉の行事としては、夏の盛りの7月10日から12日までの3日間繰り広げられる「祇園祭」が知られている。この祭りの目玉は、一つの大太鼓を4人の打ち手が叩く祇園太鼓である。「やっさ、やれ、やれ」の掛け声とともに太鼓の両面で乱打するバチさばきは、小気味が良い。

JR小倉駅前には、この祇園太鼓の像が建てられている。地元の作家による「富島松五郎伝」を原作とした映画、「無法松の一生」は坂東妻三郎の主演で全国にヒットした。

小倉の街から望める山並みは、妙見山、足立山、小文字山と続き、妙見山には和気清麻呂が創建したといわれる妙見神社がある。

また、小倉城跡には赤煉瓦の門柱が残されているが、これはかつての小倉師団司令部のもので、この連隊にはかつて森鷗外が軍医として赴任していた。



娘チニタと作品「氣面」「生面」 父ビッキと作品「樹海老」

おさしま

し、廃屋で取り壊し寸前の箆島小学校舎を住まい兼アトリエにした。札幌でアトリエ「モア」と「モアモア」を制作拠点にしていたが移住して3つ目を「3モア（サンモア）」と名付けた。

村へ移り10年間に制作した作品は、動植物イメージの木彫やトーテムポールといった大型モニュメントなど1,000点を超す。3モアはビッキ没後に大幅リニューアルして作品群と制作現場を展示し、札幌・薄野でビッキ作品を飾り親しまれたバー「いないいないばあ」のカウンターなどを館内に再現した。豪雪地のため開館は4月下旬から10月末まで。村の宿は天塩川温泉など少ないが、おといねっぶ美術工芸高校は「造形体験を重ね人間力を育てる」というカリキュラムに全国から生徒が集まる。（文・写真 林 莊祐）

東京
震が関発の最新情報
国土交通省・総務省・財務省

ネパールへぜひ！エベレストがあるよ

ネパール駐日大使 マダン・クマール・バッタライ



カトマンズ生まれ。インド・コルカタ（カルカッタ）にあるジャタプール大学の文学部を卒業。1975年英字新聞「ライジング・ネパール」編集次長。2年勤めたあと外務省に入省。商業省などを経て04年駐ドイツ大使、09年外務大臣。2011年11月から現職。59歳。

文学博士で子供は娘と息子の二人。

—まずはネパールと日本との人的交流はどうなっていますか？

2012年の統計ですが、日本からネパールに来た人は28642人で11年に比べて約2500人増えています。観光客が大部分です。日本にはネパールから8727人で11年に比べて2000人ほど増えています。ネパールから来る人は観光は少なく仕事のためです。日本で稼いでネパールに送金しています。日本とネパールとは古い関係がありもっと交流を増やさなければいけないと思っています。

—文学博士で大学時代は国際関係論を勉強したそうですが、日本とネパールとの結びつきについて話してください。

ネパールの歴史は古く、日本との交流も長い。インドから仏典を持ってこようとしてチベットに行きネパールを通った河口慧海などが有名です。ネパールは1902年に8人のネパール人を送り込みました。日本で勉強をするためです。それからの付き合いですから100年以上です。それがいまや毎年8千人以上の人々が日本に来るようになりました。ネパールには毎年2万人以上の人々が来ています。登山家の宮原巍（たかし）さんのように国会議員に立候補する人もいます。宮原さんはエベレストの麓にホテルも建てました。その時に日本から連れてきた大工さんとネパールの娘が結婚しその子供が東京・恵比寿で「クンピラ」というレストランを開いています。

—ネパールと日本との観光ではどのような点が結びついているのでしょうか？

エベレストやヒマラヤをはじめ高い山がそびえておりそこに登山家 comes。三浦雄一郎さんや田部井淳子さんなどです。私は雑誌社に勤めていた時に田部井さんとインタビューしています。橋本・元総理はネパールに33回登山を含めて来ています。一般の人はトレッキングです。高齢者の人が最近は多くなってきています。

二番目は宗教です。ネパールにはお釈迦様の生まれた「ルンビニ」があり、そこを訪れる日本の仏教関係者は多いです。三番目は世界遺産が10以上あります。ヒンズー教の宮殿や古い仏教の遺跡も出てきています。四番目はネパールの人と日本人の性格が穏やかさということで合うんだと思います。

—国王が暗殺されたり政治的にごたごたしていましたが、現在は大丈夫ですか？

中国人や米国人などは敵対する勢力がありますが、日本人にはそうした敵対的な感情はありませんので安心してネパールに来てください。

街道観光のすすめ ④

(街道観光の動機)

JN協会副理事長 須田 寛 (JR東海相談役)

「街道観光」とは、人間の交流手段であり又交流の場でもある「街道（みち）」を訪れ（歩き）、交流の原点にふれると共に沿道の景観、まちなみや街道周辺に形成された文化にふれることによって人的交流をはかる「観光」のことをいう。

「街道観光」は日本観光振興協会、日本商工会議所、全国街道交流会議、などの諸団体が連携して提唱推進しつつある。その動機は次のような諸点であった。

(1) 健康志向の動き。メタボリック症候群などが注目されるに至り成人を中心に健康のため「歩く」ことが実行されはじめた。この動きは各地の鉄道会社等が駅を出発帰着点とする「街道ウォーキング」につながり、幅広いウォーキングブームに広がろうとしている。観光協会の調査によれば、昨年度ウォーキングイベント参加者は延べ5000万人に及ぶと見られるに至った。この多くは数キロの道をコースをきめて、ひたすら歩くものだったが、これを沿道の観光に結びつけられないか。又ウォークの目的地に観光スポットをとり入れる等ウォーキングの盛行を観光行動にしようとする動きが出てきた。

(2) 街道交流首長会議の提唱。全国約80の首長（市長等）による標記の会議がある。

従来道路の建設整備についての調査提言等を行ってきたがこの会議の総会（24年浜松）で今後道路の有効活用のため「街道観光」を各市が連携して推進することが決議された。

(3) 宿場観光の推進。東海道、中山道の主要街道の宿駅制が整備されたのは1600年代初期である。それから、ここ数年のうちに400周年を相次いで迎えた旧街道の宿場（跡）が、各地の観光拠点として、そこに残るまちなみや遺跡が再整備され又街道博物館・資料館が多くに宿に設けられるようになった。このため、宿場（跡）を訪れる観光客が増え、これらを結びつける宿場間数キロ程度の街道観光（みちあるき）へのニーズが高まってきた。

上記の動機から、自治体、観光団体等が街道を観光面から見直す動き、沿道（場合によっては道そのもの）を観光資源として見直し磨き上げようという気運が、各地で盛り上がってきた。「街道」は地域をつなぐものであるから、街道を通じて地域の連携による観光が可能となり、「街道観光」の必要性が認識されていった。

× × ×

「ブルマー誕生」

JN協会理事 北村 嵩(前松蔭大学教授)

近頃は見かけなくなったが、一時期、日本の女生は、運動会や体育の時間には「ブルマー」と呼ばれる短パンを履いていた。

この「ブルマー」という短パンの名前の語源はアメリカ・ジェンクス・ブルマーというアメリカの女性解放運動家の名前から来ている。19世紀の女性の服装は、映画「風と共にさりぬ」でヒロインのスカレットが乳母にウエストを締め上げられるシーンに見られるように、スカートを鯨骨や針金で膨らませた、女性にとっては動きにくく過酷なものであった。

1850年代はアメリカで女性解放運動が活発化しており、アメリカ・ブルマーも熱心な活動家であった。かねてから女性の服装に関心があり、コルセットなどの窮屈な衣服から開放されたいと考えていた。友人のエリザベス・スミス・ミラーが、庭仕事をしていた時に、長くて暑苦しい服装に嫌気がさして、当時としては過激だった股下4センチのトルコ風のズボンという活動的な服装をしていた。それを見たアメリカは、彼女が発行していた女性禁酒運動の機関紙「リリー」の紙面でエリザベスが提案したトルコ風パンツルックを大々的に紹介した。その反響は大きく、多くの女性から作り方の問い合わせの手紙が舞い込み、「リリー」の発行部数が大幅に増加した。

当時としては、女性が履くには露出が多すぎたトルコ風のパンツは、時の話題となり、「ブルマー」と名付けられた。この過激な服装は、流行歌や風刺劇で揶揄され、ブルマー姿で町を歩くと卵をぶつけられたりした。その後スポーツをするウェアとして使えるようなものに改良された。当時は女性用の適当な運動着はなく、この発明は極めて画期的なものであった。この頃のブルマーは**ニッカポッカーズ**ボンのようにだぶつきがあり、膝あたりまで丈があった。日本では19世紀末の華族女学校校長、下田歌子が女性用の袴を考案し、同じ頃、ミッション系女学校のフェイリスなどの低学年がこの「ブルマー」タイプを着用して体育の授業を行った。本格的には、文部省からアメリカに留学して体育教育の視察を行った井口阿くりが、帰国後、女学校の体育の時間に導入したといわれる。この当時のブルマーは提灯

型のもので、ショーツ型が導入されたのは戦後の東京オリンピック女子バレーボールチームが最初である。

長い灰色の線

小田急電鉄(株) 特別社友 利光 國夫

先日衛星放送で、久しぶりにジョン・フォード監督の「長い灰色の線」を観た。この映画を初めて観たのは高校生の時、当時は色彩シネマスコップが出現して間もない頃だった。それまで公開された「シネスコ」と呼ばれるこの方式で撮影された作品の多くは聖書を題材にしたスペクタクル映画など、大画面の迫力を強調するだけで芸術性、ストーリー性といった点では粗雑なものが殆んどであり、映画評論家の間では「シネスコ」の評価はいたって低かった。そこに名匠フォードのシネスコ作品が登場するというので、評論家や映画ファンの関心を集めること極めて大なるものがあつた。結果は辛口を以って鳴る某評論家はじめ殆んど全ての評論家が「シネスコ」の将来に希望を与える傑作と絶賛したのである。

この作品の舞台はアメリカのウエストポイント陸軍士官学校で、アイルランド移民の男の体育教官助手としての生涯を描いており、士官学校の制服が灰色であるのが題名の由来である。アメリカ帝国主義の基盤の一つに関わる物語に日本人である私が感動する謂れは無いのだが、フォードが描いているのは夫婦親子、師弟の愛情、神への信仰など彼の作品に共通する価値観であり、ウエールズの貧しい炭鉱夫一家をテーマにした往年の名作「我が谷は緑なりき」に通じる彼の人生観をシネスコの大画面で見事に描き出した手腕はさすがだった。

世間ではジョン・フォードを「タカ派」などと言う者がいる。私は「タカ派」「ハト派」という安直なレッテル張りが嫌いだが、かつてマッカーシーのアカ狩旋風がハリウッドに及んできたとき、セシル・B・デミル等マッカーシー支持派の集会でフォードがおもむろに立ち上がり「私の名前はジョン・フォード、西部劇を作っている男だ。デミル氏の今日までの業績には多に敬服している。だがなデミル、私はあんたが嫌いだよ。みんな早く家に帰って寝ようじゃないか」と言って集会を終わらせたエピソードが彼の思想を端的に物語っている。

フォードはアカデミー監督賞を4回受賞しているが、それ以外の全ての作品を含めて、俗に「フォードタッチ」と呼ばれる独特の情感を漂わせる点で他の追随を許さない。これに接することができたのは私の人生に於ける大きな幸せだと思っている。

会員の投稿を歓迎します～情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2014年07月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。発行は2014年07月25日、投稿締め切りは、07月15日です。

『地域おこし』あれこれ

特産品で地域おこし

JN協会理事 埴り

全国各地で、いろいろな形の「地域おこし」が行われている。かつて、この欄でマラソンでの地域おこしを書いた。それから、全国でマラソン大会が増えている。記録は度外視、地元のフルーツを食べながらの健康マラソン。心臓破りの坂を上るのに醍醐味がある1.5キロのミニマラソンなどウェブサイトをみるだけでも楽しいものである。

今回は、特産品での地域おこしを紹介したい。先日友人が送ってくれたのが、狭山茶の詰め合わせ。今までにない詰め合わせで現地に行ったような気分になるので紹介したいと思う。

埼玉県入間市商工会が企画したお茶の詰め合わせだが、遊び心がある商品になっている。パッケージは観音開き。開けると茶・観光マップがデザイン化され、さらに観音開きの中に14の茶園のティーバックが入れている(写真)。

狭山茶の主産地入間市のお茶屋さん、茶園ごとにこだわりのあるやり方で自家製造する。



その茶園の特徴である香味の違いを味わってもらいたいと、入間市内14の茶園が集まってセット商品をつくった。商品名は「彩(いろいろ)いるま」。入間市商工会が入間市の地域ブランド商品として販売する。

お茶にとっては北限の気候といわれる武蔵野台地で作られた深みのある旨みコクが、飲み比べによって狭山茶の味わいがより深くなり、茶・観光マップもついているので直接足を運んでみたくなる商品。

価格は1セット2,500円(税込み)

問い合わせは、入間市商工会(彩製作委員会)

TEL:04-2964-1212

地方へも広がる訪日客

「東京一富士山一京都」——定番のように見られていた外国人旅行者の行先に、少しずつ変化がみられる。

2013年度の訪日者は1098万人と、前年度比で26%増えたが、行先等を分析したJNTOによると、宿泊客が多いのは、いぜん東京だが、13年度には30.3%と09年度の34.8%からすると「東京一極集中」から地方への分散傾向がみられる。中でも目立つのが北海道で、スキーシーズンは台湾からの客が大幅に増えている。九州・福岡も距離的に近いためもあってか、韓国からの客が押しかけている格好。LCC(格安航空)の普及やビザの緩和もあるが、各地の和食や特産品を含めた「おもてなし」機運の盛り上がり、かなり功を奏している。

C O L U M N

2つの映画に見る泰麺鉄道

さる日映画「レイルウェイ 運命の旅路」を観た。第2次世界大戦中タイ・ビルマ国境を越えて建設された鉄路にまつわる物語である。半世紀以上も昔、名匠デビッド・リーン監督の下にウィリアム・ホールデン、アレック・ギネス、早川雪州ら名優の演技に、名曲「クワイ河マーチ」の大ヒットが追い風となってアカデミー作品賞を受賞した「戦場にかける橋」はフィクションだった。一方、その後編と想起させるこの「レイルウェイ〜」は、日本軍捕虜となったイギリス人将校の自伝に基づいている。

今では当時の山岳鉄路は撤去され列車でタイからビルマへ行くことは出来なくなった。複雑な両国外交事情と乗客を期待出来ない鉄道の復活はならず、今日では歩いて国境越えることも出来ない。タイ側はナムトックで、一方ビルマ(現ミャンマー)側はタンビザヤで行き止まりとなっている。

タイ側のナムトック手前のカンチャナブリーにはクワイ河に架かる昔の鉄橋が保存管理され、今では観光名所になって、休日になるとバンコックから観光客がどっとやってくる。ここには「JEATH」と呼ばれる異色の戦争博物館があり、過酷だった当時の捕虜使役と虐待の様子を伝える復元模型が展示されている。一度は「DEATH」(死)博物館という名称に決まりかかったが、仏教徒であるタイ人の気性にそぐわないと地元民から反対の声が上がり、建設に関わった日本、イギリス、オーストラリア、アメリカ、タイ、オランダのイニシアルを取って「JEATH」と名付けられた。

一方ビルマ側では、30余年前タンビザヤに近いモールメンの空港税関長から、父親がかつて旧陸軍鉄道第五連隊に徴用され、その鉄道建設に携わったと聞いた。暫くして戦時のノスタルジックな幻想に触れてみたくなり、敢えて空路を避けラングーン(現ヤンゴン)から列車でサルウィン河畔の町へ行き、渡し船で濁流渦巻く大河を渡りモールメンで税関長のポンコツ車に揺られて昔の泰麺鉄路跡を訪れたことが懐かしい。2つの映画はいずれも日本軍の残虐さを描いているが、それでいて陰湿さがあまり感じられなかったのは、臨場感の落差なのか、時の経過のせいなのだろうか。

(近藤節夫)

【会員募集】

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円から)、団体会員(1口5万円から)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPAN NOW観光情報協会(電話03-5304-9500)